

総括表

福井県概要

- (1)人口：(R5年)約74.5万人(生産年齢人口56.3%(H28年比－1.3%)、高齢者人口31.6%(H28年比＋2.3%))
- (2)主要産業構成：製造業(就業者数21.6%)、卸・小売業(就業者数18.7%)、医療・福祉(就業者数12.7%)
- (3)経済状況：県内総生産 3兆6,815億円(前年比＋3.1%)、製造業生産量8,935億円(前年比＋3.7%)、
卸・小売業生産量3,117億円(前年比＋6.0%)、医療・福祉生産量3,086億円(前年比＋4.2%)
- (4)雇用情勢：有効求人倍率1.94倍(R5年、前年比－0.1)、正社員有効求人倍率1.74倍(R6年11月、前年同月比＋0.08)
- (5)総合戦略等で重点的に取り組んでいる産業対策・雇用施策
産業人材の県内定着、Uターン者の拡大、若者に魅力ある仕事の創出などを基本戦略とした「第2期ふくい創生・人口減少対策戦略」を策定(R2.7月)し、県内企業の人材の確保・育成や技術革新、新分野等への事業展開を促進している。

地域における課題と現状

課題

- ①人手不足・成長分野における産業人材の確保・育成(喫緊の課題)
- ②人口減少社会における産業の高付加価値化・生産性向上等による地域経済の成長(長期的な課題)



<企業・事業主>

- ①採用力の強化(製造、建設、医療・福祉、情報通信)
- ①②多様な人材・働き方推進(製造、卸・小売、医療福祉)
- ①②在職者のリスクリング(製造、情報通信、卸・小売)
- ②新分野進出、新規創業・育成(製造、情報通信)

<求職者・労働者>

- ①②若者などの求職者(Uターン含む)
- ①②プロフェッショナル人材(副業・兼業人材含む)
- ①②外国人材
- ①②在職者(リスクリングによる生産性向上等)

必要な支援策

- ①採用力強化(AC)
- ①②多様な人材の活躍促進(ABC)
- ②起業家創出・育成(A)
- ①②賃上げ・働き方改革(A)
- ①②産業の高付加価値化・生産性向上(A)
- ①②キャリア形成・マッチング支援(BC)

産業人材確保・定着支援事業

事業テーマ

地域経済の持続的発展に必要な人材の確保・定着

戦略的雇用創造分野

人手不足、成長分野
(製造業、情報通信業、卸・小売業、建設業、医療・福祉)

地域の関係者からの意見・要望・提案等

- ・県内企業の人手不足が著しく、有効求人倍率は日本一、UIターン率も減少している。「売り手市場」における多様な人材の確保・定着が重要な課題であり、採用力強化に取り組む必要（経営者協会）
- ・人材不足は重労働である医療・福祉においては課題。人材確保支援に加え、サービスを支える技術革新に期待（老人福祉施設協議会）
- ・DX化や脱炭素促進など事業環境の変化に応じた持続可能な経営のため、成長分野への事業構造転換・拡大に向けた支援が必要（商工会議所連合会・県内事業者）

事業規模・事業効果

【事業規模】

事業費：0.75億円（①0.25億円、②0.25億円、③0.25億円）

【事業効果】

雇用創出：126人（①42人、②42人、③42人）

A：企業・事業主向け

- ①企業の人材採用戦略コンサルティング
- ②人事担当者の採用スキル向上研修実施
- ③起業家創出・事業拡大に向けた伴走支援
- ①成長分野（脱炭素、ヘルスケア、宇宙、ロボット産業等）進出支援
- ②多様な人材（外国人材、女性等）・働き方（副業・兼業人材等）の活用支援
- ③賃金アップ・ウェルビーイング向上支援
- ④在職者リスクリング支援

○地プロ事業
●県単独事業

C：就職促進

- ①中途人材企業面談会開催
- ①合同企業説明会開催
- ②キャリアコンサルティングによる就職支援

B：求職者・労働者向け

- ①県内企業と県外学生等との交流会
- ②人手不足・成長分野へ労働移動促進（就職奨励金）
- ③求職者（外国人材含む）相談窓口の運営
- ④離職者リスクリング支援
- ⑤産業技術専門校等での職業訓練

労働局・ハローワーク

＜連携できる主な支援＞

- ・職業相談・職業紹介（A①,B④）
- ・職業訓練（A④,B④⑤）
- ・雇用・労働関係助成金

ふくい産業支援センター

＜連携できる主な支援＞

- ・DX化支援（A①）
- ・経営相談（A③①）
- ・創業相談（A③）

県

＜連携できる主な支援＞

- ・プロ人材拠点（A③①②）
- ・シニア人材支援センター
- ・障がい者雇用支援（A②）

高等教育機関

＜連携できる主な支援＞

- ・産官学連携による成長分野研究開発支援（A①）
- ・企業説明会等情報発信（C①②）